

科目	臨床運動学(PT)	担当	古川 公宣	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

授業目標:動作分析の概念と手順及び方法を学ぶ。

疾患に特有な異常動作と評価結果の因果関係を学ぶ。

到達目標:動作の観察項目と評価結果の因果関係を文章で表現することができ、理学療法プログラムへ結びつけることができる。

【履修注意】

動作分析は、臨床実習ではもちろん、日常診療の中でも評価の中でのウェイトは大きい。本講義では、この一連の手順を理解し、解剖学的、生理学的、運動学的用語を用いて表現することを学ぶ。障害と評価結果を結びつけるためには、疾患の基礎知識や基礎医学知識が必要となるため、過去の学習を十分に復習しておくこと。

【評価方法】

定期試験、出席状況、受講態度などを総合的に判断する。

【試験について】

筆記試験

再試験対象者の条件:60点未満を対象とする

【予習・復習】

動作分析は運動学的知識が必要となるので再度確認しておくこと。

各講において次回講義内容を伝達するので、必要事項を必ず予習すること。

【教科書】

書籍名:15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学

石川 朗, 種村留美 出版社:中山書店

【参考書】

指定しない

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	運動力学とは	動作分析, 力学, 随意運動の発現及びメカニズム
2	運動力学の基礎(1)	重心の位置, 重心と支持基底面, 力
3	運動力学の基礎(2)	身体の挺子, 関節モーメント, 回転力, その他
4	姿勢と保持	姿勢の定義と分類, 分析
5	正常動作(1)	起き上がり, 寝返り動作, 床からの立ち上がり動作
6	正常動作(2)	椅子からの立ち上がり, 歩行
7	高齢者の姿勢・動作の特徴と分析	高齢者の心身の特徴, 運動機能, 姿勢・動作
8	脳血管疾患の姿勢・動作の特徴(1)	姿勢異常, バランス, 片麻痺患者の動作分析
9	脳血管疾患の姿勢・動作の特徴(2)	半側無視の定義, メカニズム, 姿勢と動作の特徴と対応
10	脊髄損傷の姿勢・動作の特徴	概説, 姿勢・動作の特徴
11	Parkinsonismの姿勢・動作の特徴	概説, 症状, 姿勢・動作の実際
12	運動失調の姿勢・動作の特徴	概説, 主な症状, 姿勢・動作の実際
13	脳性麻痺の姿勢・動作の特徴	病態と障害像, 姿勢・動作の特徴
14	下肢関節障害の姿勢・動作の特徴	変形性膝関節症, 変形性股関節症, その他
15	下肢切断患者の姿勢・動作の特徴	義足使用者の基本・応用動作の能力, バイオメカニクス
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ